

◇編集後記◇

昨年1年間の投稿論文数は、産衛誌35編(前年25編)、JOH154編(前年143編)と、いずれも順調でした。また昨年の掲載論文数は、産衛誌11編(前年21編)、JOH70編(前年73編)でした。産衛誌の掲載論文数が減っていますが、投稿状況は順調ですので今年は回復することを期待しています。JOHへの過去5年間の投稿論文数の推移を見てみますと、2002年126編、2003年118編、2004年145編、2005年143編、2006年154編となっており、2004年以降に増加していることがわかります。2003年のJOHのmedline掲載が大きな力となっていると考えられます。しかし投稿論文数の増加は査読論文数の増加をも意味しており、実際に国内外の編集委員をはじめとして、査読をお願いする会員の皆様には大変ご苦労いただいております。このような事情から、来年4月からの新しい編集委員会においては、編集委員のさらなる増員をお願いしたいと考えております。

前号でアナウンスいたしましたように、英文誌、和文誌ともに、ホームページから電子投稿できるようになり

ました。早速電子投稿による投稿が多数届いております。査読プロセスの迅速化にも貢献できると期待されますので、投稿に際しましては、なるべく電子投稿をご利用くださいますようお願いいたします。

時々論文の書き方に慣れない方の投稿を目にします。「国際誌にアクセプトされる医学論文」(木原正博他訳)や、産業衛生学雑誌の連載から世に出た「保健・医療・福祉のための論文のまとめ方と書き方(改訂第2版)」(鈴木庄亮, 川田智之著)などの良い参考書がありますので、これらを活用して、論文の体裁を整えた上での御投稿をよろしくお願いいたします。

今号の黄色ページには、頸肩腕障害研究会による「頸肩腕障害の定義・診断基準・病像等に関する提案について」と題する文書が掲載されています。この30余年の国内外の研究成果を踏まえた包括的な解説がなされており、作成に関わられた研究会の先生方のご努力に敬意を表したいと思います。

(竹下達也)

「産業衛生学雑誌」編集委員会

委員長：竹下達也(和歌山医大)

副委員長：圓藤陽子(東京労災病院), 武林 亨(慶應大), 堤 明純(産業医大),
本橋 豊(秋田大), 森 満(札幌医大)

荒木田美香子(大阪大), 有澤孝吉(徳島大), 市場正良(佐賀大), 掛本知里(東京女子医大), 上島通浩(名古屋大), 車谷典男(奈良医大), 甲田茂樹(安衛研), 河野公一(大阪医大), 西條清史(金沢大), 榊原久孝(名古屋大), 澤田晋一(安衛研), 塩飽邦憲(島根大), 笠島 茂(国立保健医療科学院), 埴田和史(滋賀医大), 谷川 武(筑波大), 錦戸典子(東海大), 橋本英樹(東京大), 濱田篤郎(海外勤務健康管理センター), 保利一(産業医大), 森河裕子(金沢医大), 森田 学(北海道大), 森本泰夫(産業医大), 八幡勝也(産業医大), 若林一郎(兵庫医大)

〒160-0022 東京都新宿区新宿1丁目29番地8 公衆衛生ビル4階

電話 03-3356-1536 ファックス 03-5362-3746 振替 東京 00100-7-133495 番